

金属腐食検証

—車両用空快JETを用いた、銅・鉛への影響—

1.試験方法

目的

自動車整備などに用いられる精密回転計および一般的な基盤素材として、使用される銅・鉛に対して、車両用空快JETを用いた時に腐食が発生するかを確認する。

方法

- ①試験用金属片（銅・鉛）の中央部を写真1のようにマスキングテープで覆い、二酸化塩素に暴露しないようにする。
- ②車両のセンターコンソールの位置に、殺菌試験用菌布の横に並べて金属片を設置する（写真2）。
車両用空快JETはバックミラーに掛けて使用する。金属片との距離は約50cm
- ③15分間くん蒸を行い、くん蒸後金属片を回収する。
- ④マスキングテープを外し、変色および腐食の有無を目視により確認する（写真3）

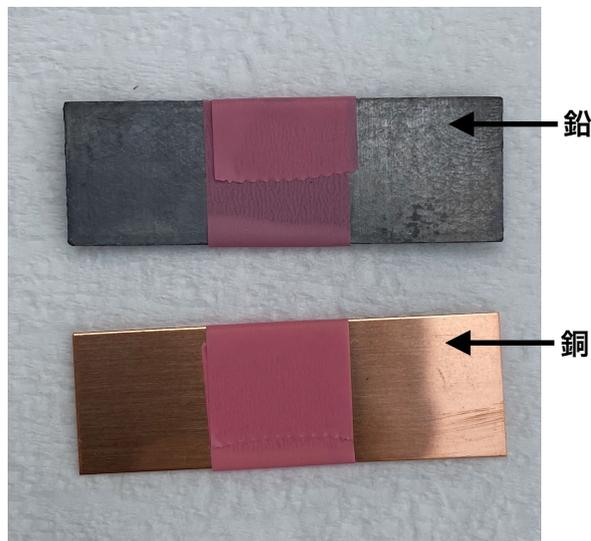


写真1

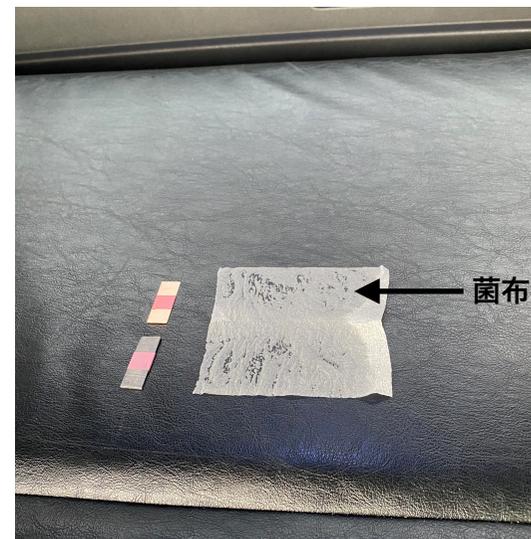


写真2

2.試験結果

マスキングテープを剥がし、未使用の金属片と並べて設置し、撮影した結果が以下の写真3です。
暴露時の二酸化塩素濃度は1ppm。未使用の金属片。マスキングした箇所と比べても腐食や変色は確認できませんでした。

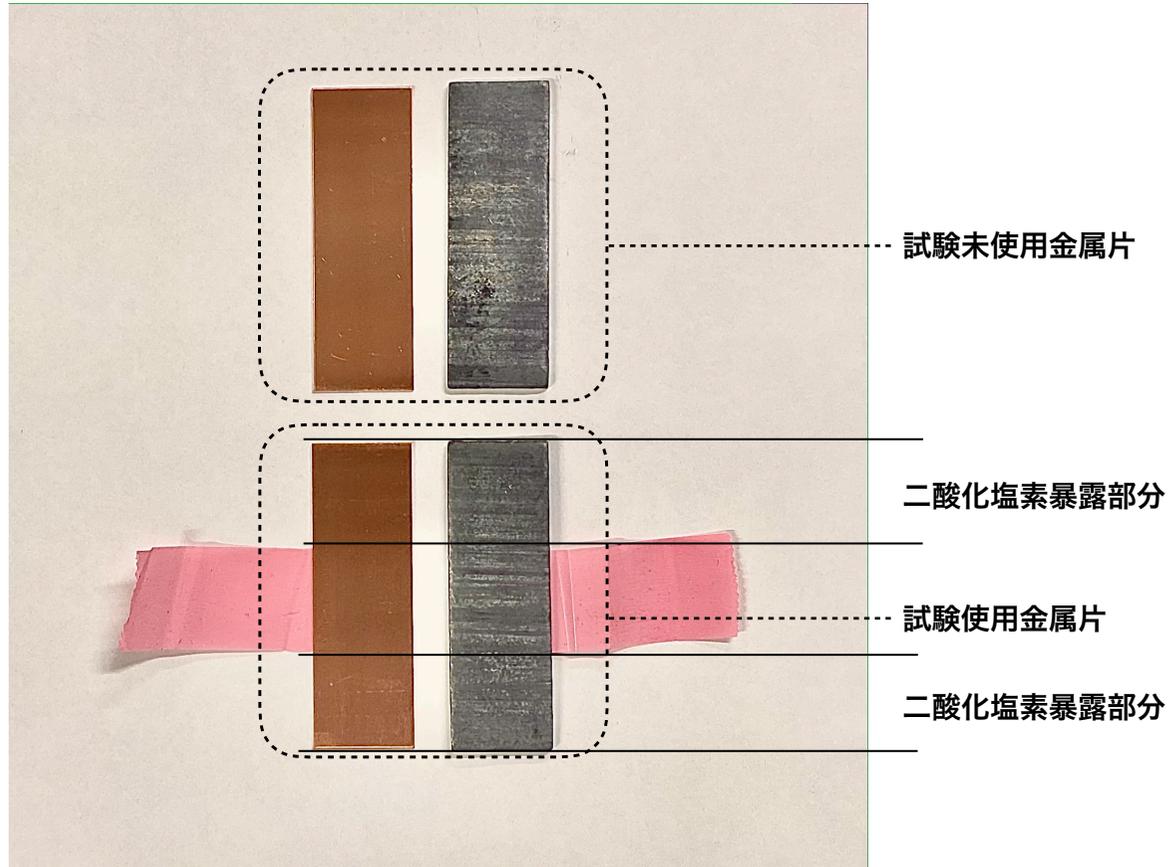


写真3

結論：通常の使用で銅・鉛に対する金属腐食は認められない。